施工･取扱のご案内
iBoxユニバーサル埋込部3/4”

この度は、ハンスグローエ製品をお求めいただきまして、
誠にありがとうございます。
このご案内には保証書が付いていますので、別冊の取扱説明書
/ 施工説明書([EN]Instructions for use/assembly instructions)
と共に大切に保管してください。

※ 別冊の取扱説明書/ 施工説明書の内容で不明な部分がありましたら、
本冊子に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。
誤った作業をすると、怪我、部品の破損、漏水など、傷害や物的損害が
発生する可能性があり、また製品の保証を受けられない場合がありますのでご注意ください。

https://www.hansgrohe.co.jp/articledetail--01800180#installation

施工資料や動画解説を
WEB 上でご確認いただけます。
是非ご活用ください。

別冊の取扱説明書/施工説明書(Instructions for use/assembly instructions)には
以下のようにそれぞれの目的に応じてアイコンが記されています。当マニュアルでも同じアイコンで
それぞれご案内いたします。


使い方
OPERATION


お手入れ方法
CLEANING


施工方法
ASSEMBLY


調整方法
ADJUSTMENT


スペアパーツ
SPARE PARTS


酢酸入りのシリコンは使用しないこと
Do not use silicone containing acetic acid!

工事店様へのお願い

● 貴店名ならびに取付日を保証書にご記入の上、お客様にお渡しください。
取り付け後は、お客様にご使用方法及びお手入れ方法を十分にご説明ください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

MONT&BEDIEN
i Box universal

20225010-001

hansgrohe

ハンスグローエ ジャパン株式会社
http://www.hansgrohe.co.jp
メールアドレス：ts@hansgrohe.co.jp

安全上の注意

- 施工前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書兼取扱説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

記号の説明

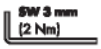
⚠ 注意！	**危険、注意** この指示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	禁止行為 該当する行為が禁止行為であることを示しています。
	分解禁止 該当する部品の分解が禁止行為であることを示しています。
	接触禁止 該当する部品や部分に触れてはいけないことを示しています。
	指示（重要） 該当する行為が記載されている指示に従って行われなければならないことを示しています。


酢酸入りのシリコンは使用しないこと

※使用工具はマニュアル内で図示している工具の絵とサイズを予めご確認ください。

例 

工具サイズ：22mm
工具：片口または両口スパナ



工具サイズ：3mm
工具：六角レンチ
（カッコ内数値は締付トルク）

必ずお守りください

⚠ 注意！	**危険、注意** ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の事項を厳守し、指示には必ず従ってください。
	禁止行為 湯水を逆に配管しないでください。水側から湯水が出てやけどをすることがあります。 
	技術資料（仕様）記載の温度以上で使用しないでください。水栓の寿命が短くなり、破損や、やけど、水漏れなどの損害発生のおそれがあります。
	強い力や衝撃を与えないでください。破損し、水漏れを引き起こすなど、損害発生のおそれがあります。 
	分解禁止 施工説明書に記載された項目以外は、分解・改造しないでください。破損し、やけど、けが、水漏れなどの損害発生のおそれがあります。 
	接触禁止 高温のお湯を吐水時には吐水口に触れないでください。やけど、けがなどのおそれがあります。 
	指示（重要） iBox の配管接続方向を間違いのないように取り付けてください。特に給湯と給水の配管方向を間違えますと、化粧部の操作で湯水と水が逆転する為、危険です。

技術仕様及び取付前のご注意

技術仕様

- 技術仕様（水圧、温度等）に関しては、弊社ホームページ（裏表紙にアドレス記載）からご利用製品の承認図をご確認ください。
  （オリジナルマニュアルに記載の圧力の記述は流動圧となります。）
- 目的の承認図が見当たらない場合や、技術的な質問等がある際なども弊社ホームページから目的の問い合わせ先をご確認いただけます。
- 予告なしに製品仕様を変更する場合がございますが、実際の製品の仕様を優先いたします。

取付前に

- 製品の取付前に、給水、給湯管のごみを、完全に洗い出してください。（洗浄方法については P12 参照）配管内にごみが詰まったまま、製品を取りつけますと、製品内部にごみが詰まり、吐水不良や、製品不具合を引き起こすことがあります。尚、一次側配管のごみに起因する弊社製品の不具合については、保証期間内であっても有償になりますのでご注意ください。
- iBox の配管接続方向を間違いのないように取り付けてください。特に給湯と給水の配管方向を間違えますと、化粧部の操作で湯と水が逆転する為、危険です。（P7 参照）
- 給水圧力が仕様の最高水圧を超える場合には、市販の減圧弁で推奨水圧の範囲内に減圧してください。
- 電気温水器等と組み合わせる場合は、給湯圧力にご注意ください。給湯圧力が低いと、吐水量が不足し、水の勢いが十分に得られません。
- 湯水混合水栓の場合、湯・水の圧力差が大きい状態で混合吐水をすると圧力が弱い側の吐水が非常に弱い、又は吐水されない場合があります（例：電気温水器等と組み合わせて使用する場合）。
  サーモスタット混合水栓に関しましては、サイクリング現象（吐水量が急に多くなったり、少なくなったり不安定になる事）、オーバーシューティング現象（吐水温度が急に高くなったり低くなったり不安定になること）の原因となりますので、給水給湯供給圧力差は最大 0.1MPa 以下としてください。特に電気温水器等をご使用時にはご注意ください。圧力差に起因する、サーモスタットの不良等の不具合については、製品保証の対象外となります。
- 梱包前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている可能性があります。製品には問題ありません。
- シーリングスリーブを壁面に接着する際は、熱着しないでください。
- iBox に取り付ける製品（化粧部）の説明書・技術仕様も必ずご確認ください。本説明書では、特殊な施工や配管接続が必要な製品について全てを網羅していません。

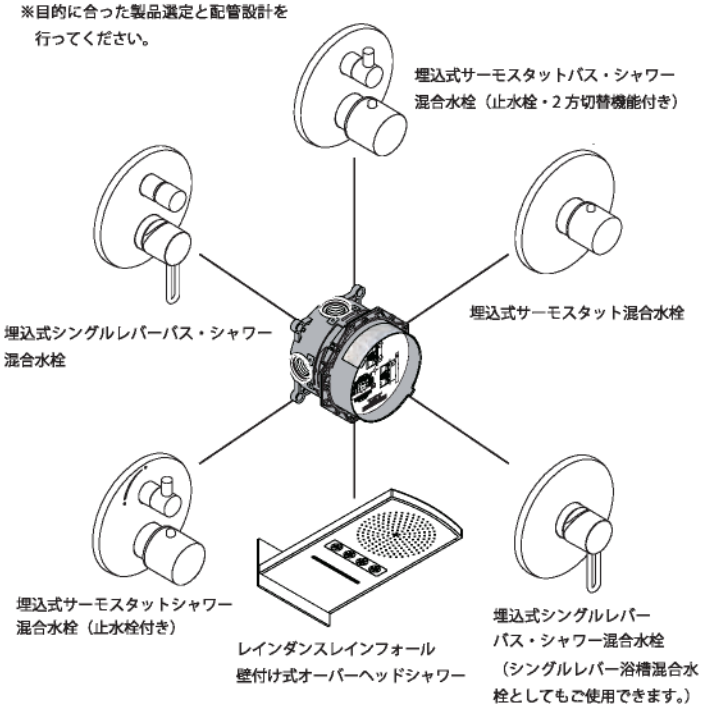
iBox の特徴

埋込部となる iBox の本体は左右上下対称にできていますので、本体に向きの表示はありません。
iBox に取り付ける機能・操作を担う側の化粧部は iBox 対応の様々な製品からお選びいただくことができます。

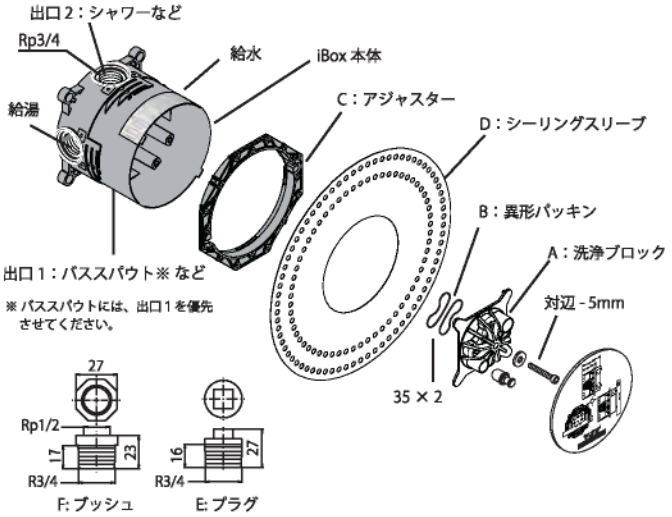
注意	湯水混合水栓を iBox でご利用の際は、正面に向かって給湯を左に、給水を反対側の右に接続してください。

製品例

※目的に合った製品選定と配管設計を行ってください。



部品名称及び用途



記号	部品名称	用途
A	洗浄ブロック	埋め込み水栓化粧部を取付ける前に一次側配管の洗浄用に使用します。（P12 参照）
B	異形パッキン	埋め込み水栓化粧部を取付ける前に一次側配管の洗浄用に使用します。洗浄が完了したら必ず、このパッキンを取り外してください。（P12 参照）
C	アジャスター	アジャスターを用いる事で iBox 取付面から化粧部までの距離を調整する事ができます。（P8 参照）
D	シーリングスリーブ	iBox 貫通部を止水させる為に用います。（P13 参照）
E	プラグ　1 個 （製品に同梱しています）	iBox の 2 つある出口のいずれか一箇所しか使用しない場合、使用しない方の出口をこのプラグで塞ぎます。
F	ブッシュ　3 個	R3/4, Rp1/2 の変換アダプターです。

施工方法　ASSEMBLY

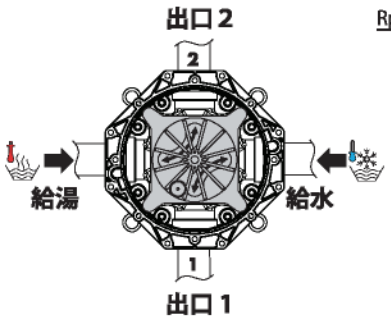
① iBox の取付け

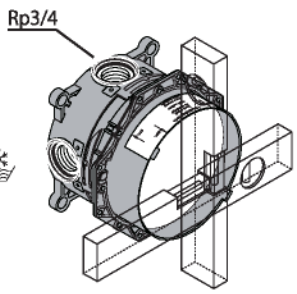
下図は湯水混合水栓を iBox でご利用頂く場合の接続例です。iBox に取り付ける製品（化粧部）の説明書・技術仕様も必ずご確認ください。本説明書では、特殊な施工や配管接続が必要な製品について全てを網羅していません。

重要	湯水混合水栓を iBox でご利用の際は、iBox の正面に向かって必ず左側が給湯、右側が給水となるよう取付けてください。

注意	iBox の本体は上下左右対称となっておりますので全ての接続を同等に扱えます。但し、一度給湯と給水を接続すると、出口の方向は上下に確定されます。 ※混合水栓以外では違うケースがありますので、特に（3）分岐水栓ではご注意ください。

必ず、上下左右及び水平、垂直になるよう取り付けてください。



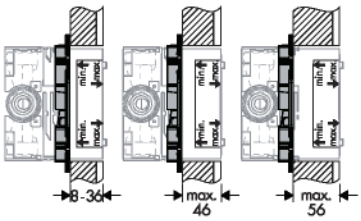


オーバーヘッドシャワー、ボディーシャワー、またはハンドシャワー等、多数のシャワーを組み合わせて使用する場合は、給水と給湯は同水圧で、各器具の承認図に記載されている必要最低水圧を同時使用時に満足する必要があります。

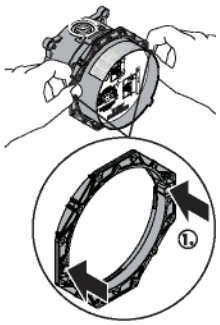
注意	プラグを取付ける際はプラグ側にシールテープを巻き、ヘルメシールを塗布して取付けをしてください。ただし、ヘルメシールは iBox 本体側に塗布しないでください。ヘルメシールの残留物が化粧部のカートリッジ等、内部部品に流入し、故障する可能性があります。

施工方法　ASSEMBLY

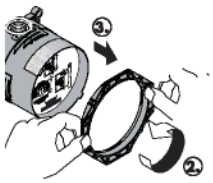
b)　下図のように、iBox 取付面から仕上面までの距離を同梱のアジャスターを用いて、調整することができます。



アジャスター位置を変更する事で、（浴室側）壁仕上面が取付範囲内となるように段階的に調整することができます。



ツメを押すとロックが外れます。
（この際に、ツメを折らないように注意してください。）



回して引くと外れます。
組込位置を調整後は必ずロックしてください。

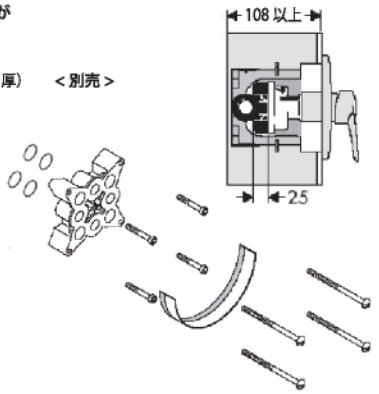
施工方法　ASSEMBLY

c)　iBox の取付面から仕上面までの距離が 80mm ～ 108mm 以内に納まらない場合、下記の対処法があります。

●壁仕上面から iBox 取付面までの距離が 108mm 以上の場合

埋込式混合水栓埋込部用延長台座（25mm 厚）
製品品番；13595000
を用いて右図の様に施工します。

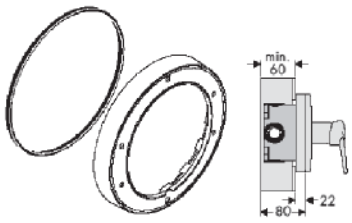
＜別売＞



●壁仕上面から iBox 取付面までの距離が 80mm 以下の場合

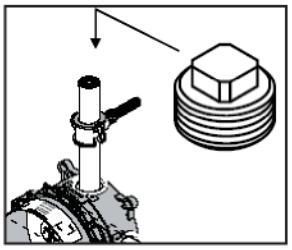
化粧部に適合する延長台座を用いて右図の様に施工します。
※製品により、厚みが 22mm, 25mm と違います
（必要時は化粧部の説明書に記載の分解図をご確認ください）。

＜別売＞　絵は一例です。



施工方法　ASSEMBLY

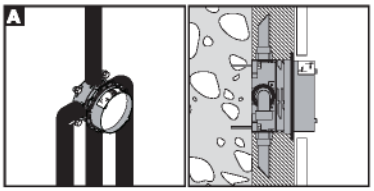
オーバーヘッドシャワー等、重量がある製品を iBox に取り付ける場合、iBOX は右図のように配管を取付け壁面に固定し器具の前倒れを防止します。配管は通常の通水路と同様にシールテープで止水処理を行い端部にはプラグを取り付けます（通常、配管内に通水はありませんが、器具に問題がある場合の予防処置です）。



② 壁面への取付け及び取付け面の調整

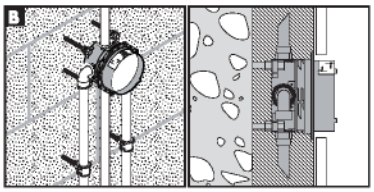
a)　製品側面に貼付のラベルを参考にして、（浴室側）壁仕上面が取付範囲内となるように施工してください。また、必要に応じて取付ビス等を別途ご用意ください。

●壁への直取付け例



iBox の底面を壁に密着させ、底面に用意されている 4 か所の穴を使いビス固定します。

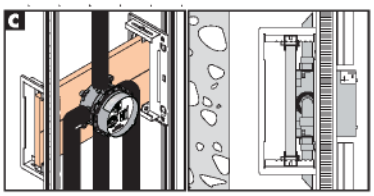
●コンクリートブロックへの取付例



壁面に直接取り付けると取付範囲内に仕上面が収まらない場合などの例です。
iBox 底面に用意されている 4 か所の穴を使い製品が規定の位置となるように施工を行います。

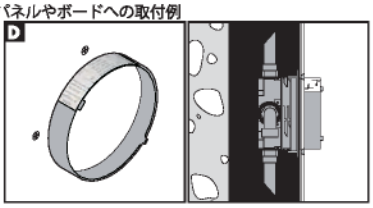
施工方法　ASSEMBLY

●取付台への取付例



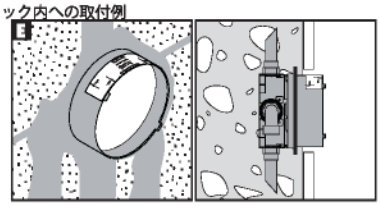
壁面に直接取り付けると取付範囲内に仕上面が収まらない場合などの例です。
2 重壁の様な取付台を用意して、iBox を施工します。

●ユニットバス等、パネルやボードへの取付例



仕上面を利用して施工する場合の例です。
取付ネジ M4（現場手配）にて、製品手前側から取付穴を利用して仕上面に固定します。

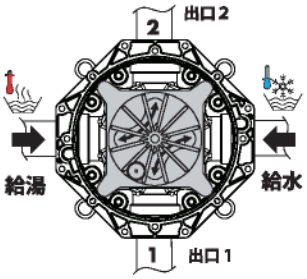
●コンクリートブロック内への取付例



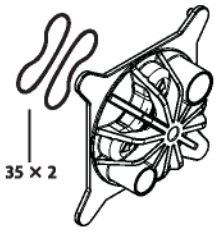
スラブ内に埋設する場合の例です。各建築作業時に製品位置がずれないような処置が必要です。

施工方法　ASSEMBLY

d)　配管の洗浄について
化粧部取付前に、本体内部を必ず洗浄してください。配管内にごみが詰まったまま、製品を取付けますと、製品内部にごみが詰まり、吐水不良や、製品不具合を引き起こす恐れがあります。
図の矢印は、洗浄ブロックを使用した際の流入経路を表しています。
（下図例：給水－出口 1、給湯－出口 2）
1 つの出口しか使用しない場合は、洗浄ブロックを 90 度回転させて、給湯側及び給水側それぞれより洗浄してください。



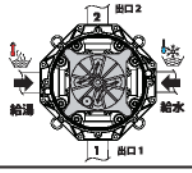
注意	洗浄後、化粧部を取り付ける前に耐圧試験（静水圧 1 分間 1.75MPa）や水漏れの確認を行ってください。



注意	●絶対に出口 1 や出口 2 の配管洗浄を行ってから化粧部を取りつけてください。 器具が故障するおそれがあります。 ●一次配管洗浄後、化粧部を取付ける前に洗浄ブロックを iBox から取り外しますが、<u>その際必ず、上図囲み部の異形パッキンを必ず一緒に取り除いてください</u>。異形パッキンを残したまま化粧部を取付けると水漏れの原因となります。

施工後の点検項目　CHECK

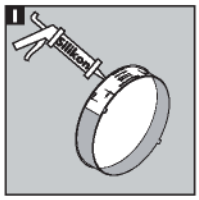
施工が完了したあと、次の項目を確認してください。

項目	点検内容	
iBox の取付け	iBox の正面向かって左側が給湯、右側が給水となるよう本体を取付けていますか（湯水混合水栓の場合）。	
配管の洗浄	化粧部を取り付けて実施しないでください。	
	洗浄ブロックを iBox から取り外す際に、異形パッキンを一緒に取り除きましたか。	

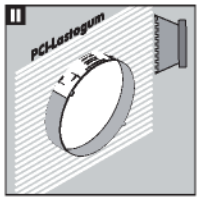
施工方法　ASSEMBLY

e)　化粧部を取付ける前に
（※化粧部の取付方法は、化粧部の取付説明書に記載してあります。）

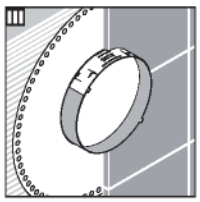
器具取付及び配管接続後、耐圧試験が完了したら、壁面を仕上げてください。その後、化粧部を取付ける前に、iBox ユニバーサルの樹脂製カバーと仕上面との隙間を、シリコンコーキング剤を塗布し止水処理を行ってください。



シーリングスリーブ（専用防水シート）の設置をします。接着剤を壁材メーカーの注意書きに従い、壁面に塗布してください。



シーリングスリーブを iBox ユニバーサルに取付け、壁面に接着してください。貫通部をより効果的に止水させるために、コーキング処理に加えてこのシーリングスリーブを使用することをおすすめいたします。
・タイルなどの凹凸のある壁面に使用する場合：白色側を使用
・平滑な壁面に使用する場合：黒色側を使用



注意	シーリングスリーブは熱着しないでください。